

謹んで新年のお慶びを

申し上げます。

この美しい地球環境を次世代へ！！
本年もご協力をよろしくお願ひします。



アポロ17号から見た満地球

生物が生存できる奇跡の星.地球

宇宙船地球号の行方は？

平成20年度版環境白書では「地球環境の保全」の項で環境の現状を次のように評価しています。

1、地球温暖化

近年の人間活動の拡大に伴って二酸化炭素、メタン等の温室効果ガスが人為的に大量に大気中に排出されることで、地球が過度に温暖化するおそれが生じています。特に二酸化炭素は、化石燃料の燃焼などによって膨大な量が人為的に排出されています。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第四次評価報告によると、世界平均地上気温は1906～2005年の間に0.74℃上昇し、20世紀を通じて平均海面水位は17cm上昇しました。また、最近50年間の気温上昇の速度は、過去100年間のほぼ2倍に増大し、海面上昇の速度も徐々に増大しています。同報告では、気候システムに温暖化が起こっていると断定するとともに、20世紀半ば以降に観測された世界平均気温の上昇のほとんどは人為起源の温室効果ガスの増加によってもたらされた可能性が非常に高いとしています。

2、オゾン層の破壊

フロンガス等の物質によりオゾン層が破壊されており、その結果、地上に到達する有害な紫外線が増加し、皮膚ガンや白内障等の健康被害の発生、植物やプランクトンの育成の阻害等を引き起こすことが懸念されています。

3、酸性雨・黄砂

酸性雨により、湖沼や河川の酸性化による魚類等への影響、土壌の酸性化による森林への影響、建造物や文化財への影響が懸念されています。

黄砂は中国、モンゴルからの飛来が大規模化しており、中国、韓国、日本等でその対策が共通の関心事となっています。従来、黄砂は自然現象と考えられていましたが、近年の現象には、過放牧や耕地の拡大等の人為的な要因も影響しているとの指摘もあります。

4、海洋環境

日本周辺の海洋環境の経年変化を捉え、総合的に評価を行うため、水質、底質等の海洋環境モニタリング調査を実施しています。その結果、平成 18 年に九州西岸沖の廃棄物海洋投入処分場海域の底質からアルキルベンゼン（生活排水汚染の指標物質）が検出される等の人為的な汚染も確認されています。また、日本周辺海域における漂着物（廃油ボール、プラスチック等）、海洋汚染（油、廃棄物、赤潮等）も増加の傾向にあります。

5、森林

世界の森林は、陸地の約 30%を占め、面積は 40 億 ha に及びますが、2000 年から 2005 年にかけて、年平均 1290 万 ha の割合で減少しています。特に熱帯雨林が分布するアフリカ地域、南アメリカ地域及び東南アジアで森林の減少が続いています。このような森林の減少及び劣化は地球温暖化や生物多様性の損失に深刻な影響を与えています。

6、砂漠化

世界の陸地の 4 分の 1 に当たる 36 億 ha が砂漠化しており 2 億 5 千万人以上が、その影響を受け将来は 4 倍になる危険性を秘めています。

砂漠化の原因として、干ばつ・乾燥化等の気候的要因のほか、過放牧、過度の耕作、過度の薪炭材採取による森林の減少、不適切な灌漑による農地への塩分集積等が上げられます。その背景には、開発途上国における人口増加、貧困、市場経済の進展等の社会的・経済的要因が関係しています。

7、南極地域の環境

南極地域は、地球上で最も人類の活動による破壊や汚染の影響を受けていない地域であり、地球環境研究の場等としてかけがいのない価値を有しています。近年は基地活動や観光利用の増加による環境影響の増大も懸念されています。

宇宙船地球号の操舵は？

宇宙船地球号の舵取りは全乗組員（全人類）であらなければなりません。正しい舵取りをしないと岩礁に激突して沈没してしまうことになります。この舵取りの一つである地球温暖化防止のための二酸化炭素の排出削減が行方を決める大きな要因となるでしょう。

うべソーラー・マイレージクラブの現在までの成果として、4 月～10 月の 7 ヶ月間のソーラーマイレージ量は 49.5 トン CO₂（杉の木の植林概算で 3 5 0 0 本分）になりました。会員 4 9 世帯平均 1 トン CO₂ の削減で最大は 3 トン CO₂ の削減、最小は 2 トン CO₂ 増加となりました。

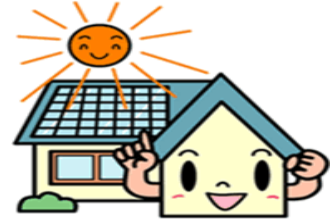
美しい地球環境に貢献するためにも、残り 3 ヶ月間なおいっそうの協力を、お願いいたします。



森の働きとふれあい



うべソーラー・マイレージクラブ事業セミナーの報告



開催日時：平成 20 年 11 月 8 日（土） 13：00～16：00

会 場：宇部市文化会館 2 階研修ホール

参加人数：80 人

概 要：中西代表、岩本副市長の挨拶に続いて環境省の足立課長補佐から温暖化の現状と環境省の対応についての基調講演に続いて、伊藤太陽光発電所事務局次長および当クラブ員でもある溝田山口大学名誉教授の講演をいただいた。

- 1、開会挨拶 宇部市地球温暖化対策ネットワーク 中西 弘 代表
表記ネットワークの紹介及び、うべソーラー・マイレージクラブ事業活動の現況報告
- 2、来賓挨拶 宇部市 岩本 哲男 副市長
宇部方式の各種省エネ活動等の紹介
- 3、基調講演 環境省地球環境局地球温暖化対策課 足立 晃一 課長補佐

「地球温暖化の現状について」

地球環境問題として温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、森林の減少及び砂漠化等がある。温暖化については北半球の平均気温の上昇、氷河の後退、異常気象の頻発及び海面上昇等が起こっている。その要因の 1 つである二酸化炭素排出量はアメリカ、中国、EU、ロシア、日本及びインドで 67% を占めており、先の洞爺湖サミットでは 2050 年に 50% 削減の長期目標を掲げている。この目標達成についてはアメリカのオバマ新大統領の政策が期待される。

国内の二酸化炭素排出量削減の取り組みとして原子力発電の着実な推進、天然ガスの導入拡大、バイオマス・太陽光及び風力による自然エネルギー利用の推進等がある。

環境省は 2009 年度予算として二酸化炭素排出量削減推進、省エネ等に約 16 億を計画している。また、二酸化炭素排出量取引の試行的な実施等、低炭素社会づくりの推進をしている。

- 4、講 演
 - (1) NPO 法人太陽光発電所ネットワーク 伊藤 麻紀 事務局次長
「太陽光発電設備について」
 - (2) 山口大学 溝田 忠人 名誉教授
「我が家の省エネ紹介」

宇部市地球温暖化対策ネットワーク

中西代表 挨拶



宇部市 岩本副市長 挨拶



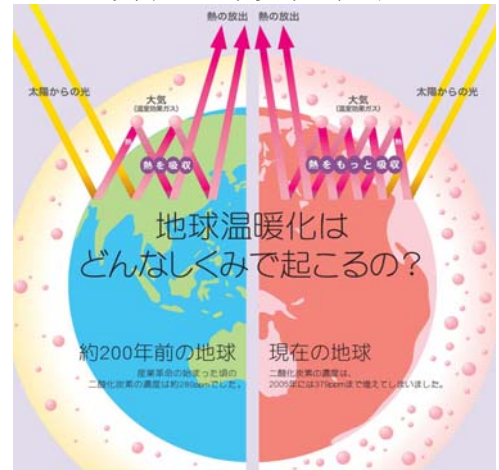
環境省 足立 課長補佐 講演



太陽光発電所ネットワーク 伊藤 事務局次長 講演



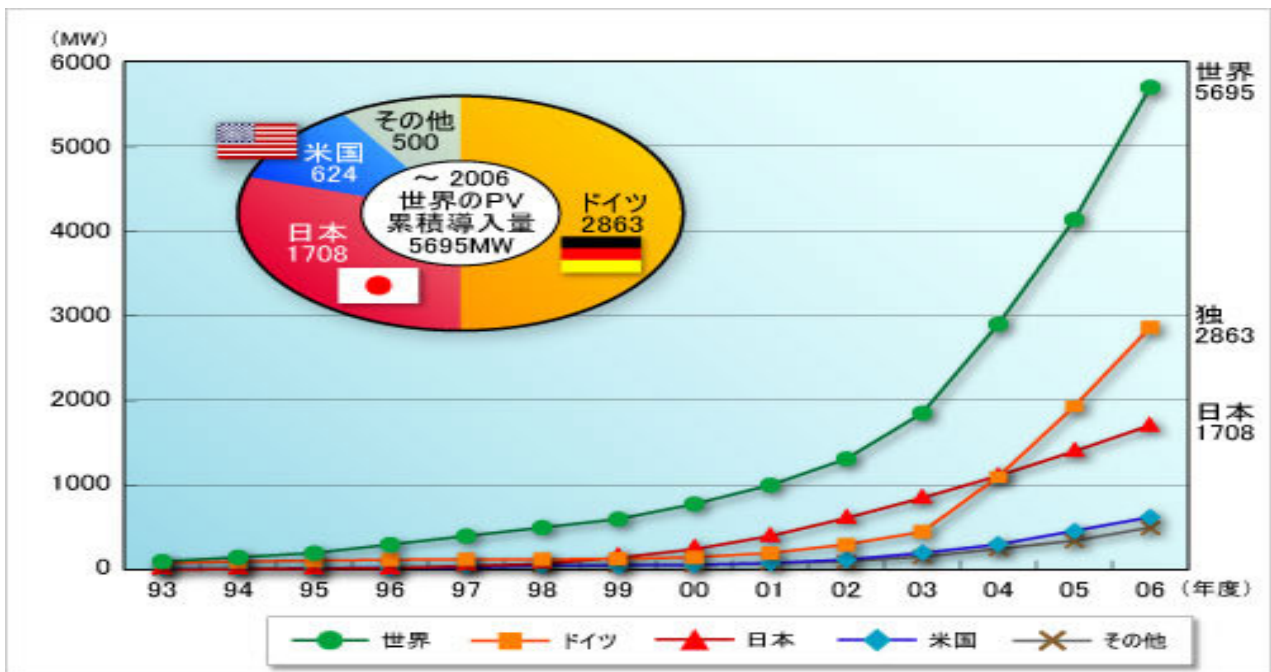
異常な気象現象の認識



山口大学 溝田 名誉教授 講演



■世界の国別太陽光発電システム導入推移(累計)



世界の太陽光発電の累積導入量(出典: 太陽光発電協会の資料を基に ITpro が作成したものを引用)

太陽光発電の累積導入量について、日本は実は2004年までは世界のトップでした。2005年急激に普及を拡大するドイツにめかれ、日本は2位の座に転落しました。ドイツが累積導入量を伸ばした要因として余剰電力買い上げの値段を3倍ちかく高とした為に、一般家庭への普及が急速に広まった。

メガワット: 1メガワット=1,000kW。1,000MW=100万kWは原子力発電所1基に相当します。

平成20年度第2期マイレージ得点表及び順位(8,9,10月)

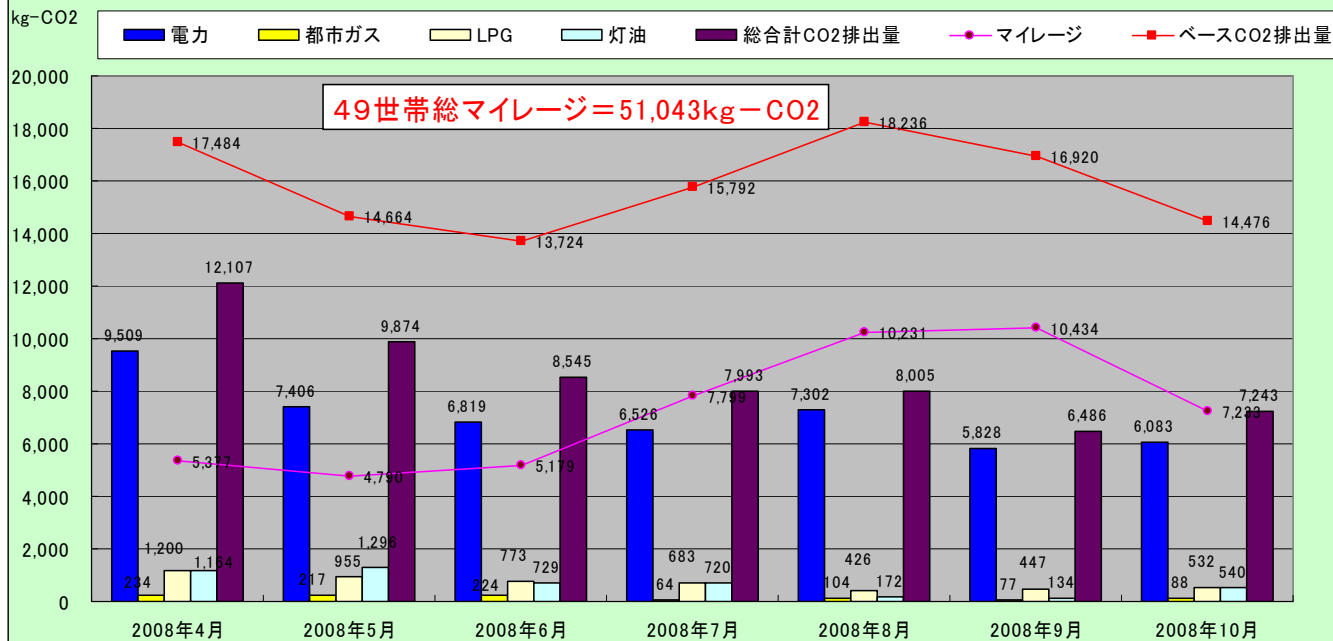
ID	家族人数	SM量(世帯)	SM量(1人あたり)	世帯あたりの 順位	1人あたりの 順位	ID	家族人数	SM量(世帯)	SM量(1人あたり)	世帯あたりの 順位
		kg-CO2	kg-CO2					kg-CO2	kg-CO2	
43	5	1,442	288	1	4	16	4	521	130	26
49	6	1,390	232	2	9	24	4	497	124	27
22	7	1,382	197	3	15	8	4	469	117	28
19	4	1,155	289	4	3	35	3	461	154	29
6	3	1,067	356	5	2	30	4	452	113	30
7	4	1,058	264	6	6	37	2	431	216	31
4	5	1,013	203	7	13	9	3	429	143	32
25	4	999	250	8	8	34	4	426	107	33
48	2	932	466	9	1	44	4	415	104	34
38	5	910	182	10	17	12	4	397	99	35
26	3	822	274	11	5	39	4	393	98	36
27	3	767	256	12	7	28	3	367	122	37
1	4	731	183	13	16	18	5	361	72	38
31	4	699	175	14	18	36	5	360	72	39
5	3	663	221	15	10	10	4	320	80	40
14	3	663	221	15	10	32	2	307	154	41
40	6	649	108	17	34	29	3	287	96	42
11	4	632	158	18	19	15	4	184	46	43
2	4	593	148	20	22	45	4	142	35	44
13	3	594	198	19	14	21	5	40	8	45
23	4	582	146	21	23	41	2	30	15	46
33	4	578	145	22	24	47	2	-75	-37	47
3	4	573	143	23	25	46	2	-80	-40	48
17	5	570	114	24	32	20	4	-239	-60	49
42	4	537	134	25	27	合計	188	27,898		

平成20年度4月から10月までのマイレージ得点表及び順位

ID	家族人数	SM量(世帯)	SM量(1人あたり)	世帯あたりの 順位	1人あたりの 順位	ID	家族人数	SM量(世帯)	SM量(1人あたり)	世帯あたりの 順位
		kg-CO2	kg-CO2					kg-CO2	kg-CO2	
22	7	3,115	445	1	11	17	5	850	170	26
7	4	2,526	631	2	2	23	4	847	212	27
6	3	2,483	828	3	1	37	2	819	410	28
19	4	2,407	602	4	3	8	4	800	200	29
43	5	2,282	456	5	8	9	3	785	262	30
1	4	2,266	566	6	4	16	4	781	195	31
4	5	2,237	447	7	10	12	4	717	179	32
49	6	2,048	341	8	17	30	4	716	179	33
38	5	1,929	386	9	15	27	3	710	237	34
25	4	1,645	411	10	12	42	4	685	171	35
5	3	1,599	533	11	5	32	2	613	306	36
31	4	1,538	385	12	16	29	3	595	198	37
13	3	1,402	467	13	7	44	4	589	147	38
14	3	1,369	456	14	9	36	5	524	105	39
2	4	1,297	324	15	19	24	4	523	131	40
33	4	1,287	322	16	20	18	5	483	97	41
11	4	1,256	314	17	21	45	4	366	92	42
26	3	1,231	410	18	13	15	4	329	82	43
3	4	1,199	300	19	23	46	2	82	41	44
40	6	1,085	181	20	33	41	2	-43	-22	45
48	2	1,044	522	21	6	10	4	-46	-12	46
35	3	1,006	335	22	18	47	2	-263	-132	47
39	4	920	230	23	27	21	5	-291	-58	48
34	4	900	225	24	28	20	4	-1,050	-262	49
28	3	851	284	25	24	合計	188	51,043		

平成20年度ソーラー・マイレージ目標値=22,529kg-CO2

平成20年度4月～10月までのマイレージ状況



会員さんの便りから

会員Aさん「今月の反省点」

お風呂の湧き返し回数が多くガスの使用量の増加が気になります。なるべく間隔を詰め家族が入りたいと思います。電力につきましては受験生がおりますのでエアコン、電灯の使用は致し方ないと思いますがホットカーペットの温度切り替え等小さな努力をしてみます。
(受験生のエアコン連続使用は乾燥等の問題もあるので途中湯たんぽ+ブランケットで暖を取っている事もあるようです・・・事務局)

会員Bさん

今日は12月並の寒さとか。我が家の主な暖房は灯油ヒーターとホットカーペットです。暑さは我慢のできる体質なのですが、ふたりとも寒さは苦手です。現在の設定温度は20℃に抑えていますが、今後は、高くなり、さらにCO2はどんどん増え続けるのではと、危惧しています。
(まあ、風邪の引かぬ程度に温度設定に気をつけましょう・・・事務局)

会員さんC

我家ではエコキュートを床暖房にも使っています。床暖房に使うには温度が60℃くらいないと、炊き上げをはじめてしまうので、設定温度を下げる事ができません。とはいえ、電気式の床暖房よりは電力は必要としない筈ですが。(蓄熱式床暖房が一番電力をくいますね・・・事務局)

編集後記

今年は丑年です。歩みはのろくても着実にゴールに向けて進みたいと思います。旧年中はデータの報告にあたり、ご協力ありがとうございました。今年についても、よろしくお願いいたします。

発行：宇部市地球温暖化対策ネットワーク
うべソーラー・マイレージクラブ
〒755-0032 山口県宇部市寿町2丁目18番11号
TEL&FAX:050-1298-4065
E-MAIL:usmchome01@ybb.ne.jp
usmchome02@ybb.ne.jp
URL:http://ubeondanka.net
編集担当： 舛田相談員・清水相談員

